



外来魚つりにチャレンジしよう

テーマ

Theme

琵琶湖環境学習

～びわ湖にふれて感じよう～

学校・園名

School name

大津市立瀬田南小学校

講師等

Lecturer etc.

オーパルオペテックス株式会社

実施日

Date

令和2年 9月 11日

教科等

総合的な学習の時間（5年生）

授業
Class

5年生総合的な学習「琵琶湖環境学習」の一環として、オーパルオペテックス株式会社の協力の下、大津市内の琵琶湖畔にて連携授業が実施されました。授業は、琵琶湖フローティングスクールの事前学習に位置づけ、事前に調べた琵琶湖のことについて体験を通して実感することをねらいに取り組みました。

主な体験内容は、上の写真左より、(1)琵琶湖に住む魚と外来魚について(講話と釣り体験) (2)カヌーによるヨシ帯見学とヨシの役割についての講話 (3)ドラゴンボート体験 の3つでした。体験の途中、大津港を出港した学習船「うみのこ」の姿が視界に入ると、「あ、今度乗るうみのこや。」と大きな声を出しながら指差する児童もあり、この日の学習が琵琶湖フローティングスクールとしっかりつながっていることが伺えました。

また、外来魚というと「外国から持ち込まれた魚」と理解していた児童が多い中、正確にはそうではなく「琵琶湖以外のところから持ち込まれた魚」のことだと説明を受けると、琵琶湖に住む固有魚を守る大切さをより強く認識した様子が伺えました。現に、釣り体験で釣れた魚はブルーギルばかりで、外来魚の多さを実感できました。児童たちは、ヨシの役割についてはある程度理解して授業に臨んでいましたが、自分でカヌーを漕いでヨシ帯に出向き説明を受けたことで、学びを深められたようです。ドラゴンボート漕ぎは、学習という側面より湖上で楽しいひと時を過ごすことに重きを置いた時間でしたが、カリキュラム全体を通した目標「琵琶湖への愛着を高めるとともに、琵琶湖の環境と自分の生き方について考える」の目標達成に向けて価値ある体験だと感じられました。

感想
Impression

児童より Impression from

■活動後の児童の感想

・カヌーやドラゴンボートなど以外にも琵琶湖でできる活動を知りたい。・ヨシ笛を作ってみたい。・カヌーやドラゴンボートを速く走るコツを知りたい。・ドラゴンボートを通してチームワークや協調性の大切さを学んだ。・外来魚がいなくなったら、どうなるのだろうと思った。・外来魚は、外国から来た魚だけではないことを知りびっくりした。・ヨシを実際に観察できて、色や太さ、群生していることが分かった。・固有種を守るため、これからもつりを続けたい。・瀬田川の環境とゴミについて知りたい。・ブルーギルやブラックバス以外の外来魚について知りたい。・ヨシは、どれだけ水をきれいにしているのか知りたい。

学校より Impression from

■「困ったことがあれば、いつでも相談してください」とおっしゃってくださったので、初めてでも不安なく準備できました。

■今回は調べ学習を確かめるまとめ期に利用したので、学習と体験を結びつけながら取り組みました。もし、初期段階で利用するならば、調べ学習に深みがでたのかなとも思います。目的に応じて様々な利用ができる可能性があると感じました。

講師より Impression from

■弊社の施設にて、カヌーでヨシ帯観察、外来魚しらべ、ドラゴンボートなど、琵琶湖を学ぶ活動を行いました。事前打ち合わせはもちろん、当日も先生方の協力を得て、良い活動を提供することができました。今回の体験を活かして、琵琶湖の環境に高い関心を持っていただきたいです。